2017年3月号「vol.81」◎編集：新井絹世　横浜市磯子区丸山2-10-6　◎電話：045-751-5250 ◎FAX：045-751-7600

県議会議員

あらい絹世の 磯っ子レポート

県政をもっと身近に

http://www.araikinuyo.jp

「貯金」捻出で税収減カバー、攻めの姿勢継続
神奈川県が2017年度当初予算案を提案

神奈川県の2017年度当初予算案が、2月13日開会の県議会2017年第1回定例会に提案され、審議が行われています。一般会計が1兆9402億円、特別会計が1兆2257億円など総額3兆2746億円となり、前年度当初予算に比べ2.8%の減。このうち県民生活への影響が大きく、知事の考え取り組みが反映されることの多い一般会計は、過去最大だった2016年度当初予算に比べ3.7%減り、4年ぶりの減少となりました。これには政令市の教職員給与負担が県から政令市に移譲しねじれが解消したことによるもので、これを除くと実質的には前年度並みとなります。ただ県税収入が前年度当初予算より減収が見込まれるため、「貯金」に当たる財政調整基金180億円を取り崩し（残高530億円）収支を均衡させた形になっています。

2017年度が2期目の折り返しの年となる黒岩祐治知事は「（厳しい財政事情の中）攻めの姿勢を崩すことなく、未病改善による健康長寿や企業誘致などの取り組みを加速して進める」との方針に至りましたが、一方で県の借金に当たる県債の新規発行額は前年度より372億円少ない1885億円に抑えているものの、2017年度末の県債残高は3兆5427億円となる見込みで、依然として高い水準にあります。歳出のなかで介護・医療・児童関係費は2005年度の2.7倍に膨らんでいます。当初予算案は定例会最終日の3月24日の本会議で採決される予定です。

重点施策は、未病対策、外国人観光客誘致を含めた観光振興、東京五輪・パラリンピックや共生社会に向けた取り組み、福祉・子育て分野などに置かれていますが、この一部を紹介すると―。

■ともに生きる社会推進事業＝同かながわ憲章を広めるため7月に推進週間を設け集中的な啓発事業を行う＝3155万円

■県立精神医療センター（横浜市港南区）による認知症対策の取り組み＝2億3285万円（認知症の診療体制や医療機器の整備を行い医療や研究を行う）

■新たな観光の核づくり促進交付金＝4464万円（城ケ島・三崎、大山及び大磯の3地域の活性化）

■中小企業・小規模企業の活性化推進＝「産業技術総合研究所交付金29億1213万円」「ベンチャー創出のためのスタートアップ支援事業費2947万円」などの新規も

■農地集積推進事業＝5191万円

■地域ぐるみの鳥獣被害対策支援＝3551万円

■保育士エキスパート等養成事業費＝1億2164万円（一定の経験を積んだ保育士を対象にアレルギー、虐待など各分野のスペシャリストを養成する）

コレが言いたい！

平成28年9月の一般質問で「県内の美術館・博物館を活用した観光施策」について質問した事により、平成29年度当初予算の民間事業者と連携した国内観光客誘致促進事業で実施される事となりました。また平成29年度より、県が負担していた政令市教職員人件費2192億円を政令市が負担し、その財源として県から政令市に1476億円の税交付金を交付することとなり、ねじれの解消がなされました。

今月のひと言

間もなく桜の時期となりますが、県立三ツ池公園（最寄駅：JR鶴見駅）では2月中旬から開花する寒桜を皮切りに、ソメイヨシノの他、横浜市の愛好家、白井勲氏が兼六園熊谷と寒緋桜の交配によって作った横浜緋桜など78品種ものサクラを4月中旬まで楽しむことができます。「日本桜名所100選」にも選ばれています。【利用時間：午前8時30分～午後7時30分、入園料：無料】

磁子 あれ？これ？

洋光台第二小学校

洋光台地区の南部をエリアとする洋光台第二小学校は、昭和46(1971)年4月に洋光台第一小学校と共に港南区の日下小学校から分離開校しました。

同校では、子供たちに「何事にも笑顔を大切に接すること」をモットーにしています。

平成27年度から児童達がデザインしたマスコットの「スマイル君」の原画が誕生してスポーツイベントや音楽発表会、カラオケ大会ごとに原画をアレンジしたスマイル君が発表され、会を盛り上げています。

スマイル君

また、縦割り学級では高学年児童の中からリーダーが選ばれ、他の生徒たちのけん引役となって各種行事に積極的に活動しています。

同校の学区には、昔ながらの町と住宅開発によりできた街があり、どちらの地域からも児童が通っていることから、双方の地域の人達による「学援隊」が組織され、子供たちの登下校時の見守り活動や学校行事に参画しています。そして、校長先生はじめ学校の先生方も、地域のお祭りや行事に参加したり、3年生児童と敬老会の人たちが一緒になって学校の近くにある公園の清掃活動に取り組んでおり、これを通して積極的な交流をおこなっています。

参考：小学校の沿革、学校長の話

活動報告

2月9日（木）江の島ヨットハーバーでの現地調査を行いました。

2月19日（日）神奈川県青少年育成功労者表彰式並びに神奈川県青少年育成活動推進者表彰式が行われ、県民スポーツ常任委員会委員長として祝辞を述べました。

あらい絹世 プロフィール

- 昭和43年3月8日　横浜市磯子区生まれ
- 横浜雙葉小・中・高等学校卒業
- 明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業
- 日商岩井㈱ / ㈱メタルワン
- 自民党かながわ政治大学12期生
- 平成27年4月　県議会議員2期目当選
- 県民・スポーツ常任委員会委員長
- 社会福祉審議会委員

あらい絹世に対するご意見・ご感想・ご要望・メッセージをお寄せ下さい・・・・・・・・・・・ FAX 045-751-7600